

調査地点に関する報告様式

(基礎調査地点用、土壌種毎に記載する)

1) 調査地点

土壌種名	()	コード	
所在地 (詳細に記載)			
緯度経度	北緯 ° ' "	東経 ° ' "	
標高 (海拔)	m		
湿性沈着モニタリング について	1. オンサイトでの湿性沈着モニタリングデータを使用 2. 近隣の湿性沈着モニタリング地点のデータを使用		
近隣の湿性沈着 モニタリング地点の情報	湿性沈着モニタリング地点名: 土壌・植生調査地点からの距離: km 土壌・植生調査地点からの方角:		
湿性沈着モニタリング 地点の地点区分	1. 都市部 2. 田園部 3. 遠隔地		

2) 土壌・植生調査地点の周辺状況

以下のスケール毎に、地形、土地利用状況、植生、発生源の状況等を方位分割別に記入し、見取り図を添付する。

(1) オンサイトスケール (調査地点から150m以内)

報告様式 A) 調査地点の周辺状況に記載する。

(2) ローカルスケール (調査地点から150m以上10km以内)

報告様式 B) 調査地点の周辺状況に記載する。

(3) リージョナルスケール (調査地点から10km以上50km以内)

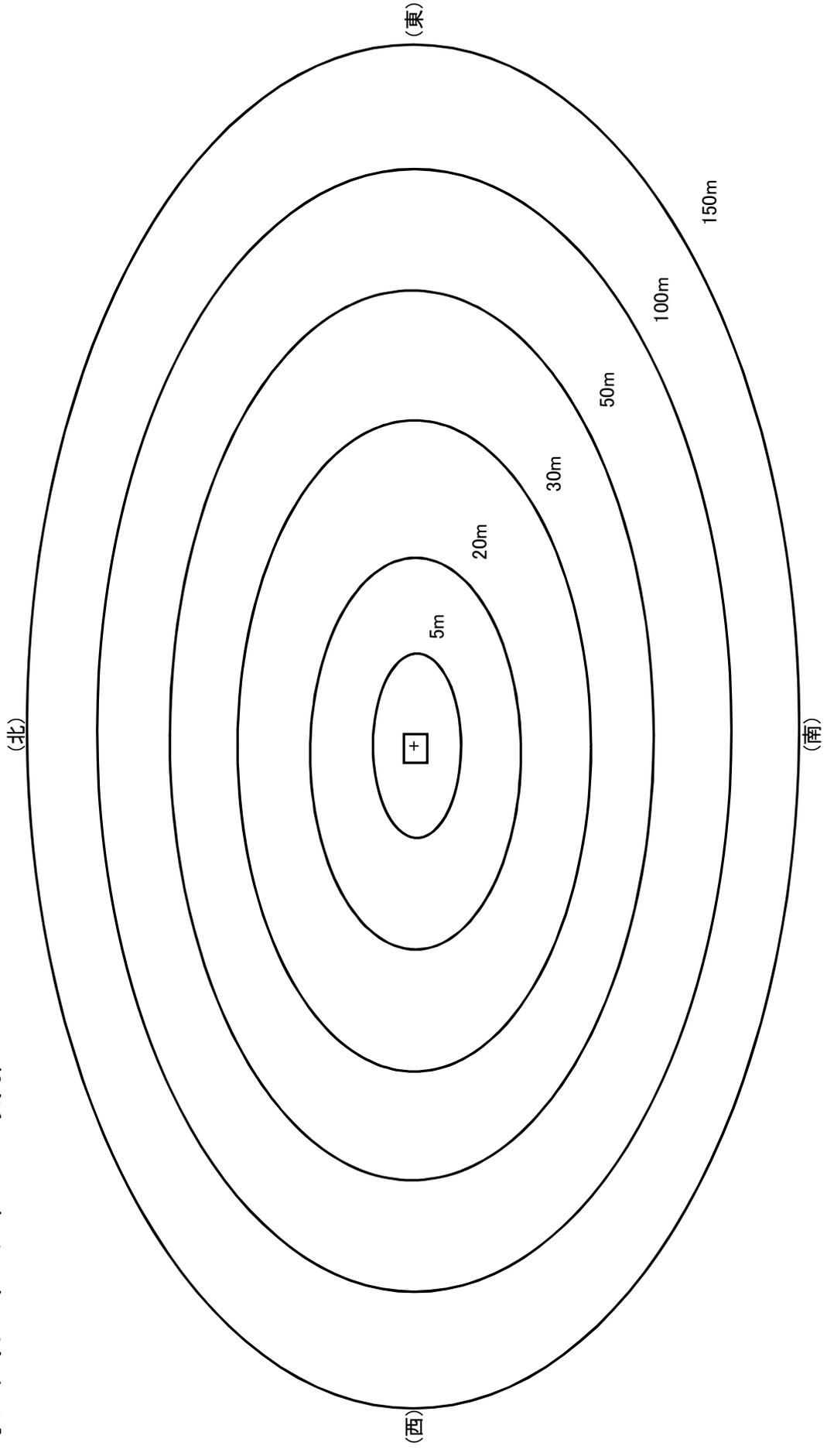
報告様式 C) 調査地点の周辺状況に記載する。

オンサイトスケールの周辺状況報告様式[様式 A)]

A) オンサイトスケール (150m以内：見取り図添付) (調査地点名：_____)

項目	北方向 (北西～北東)	東方向 (北東～南東)	南方向 (南東～南西)	西方向 (南西～北西)
樹木、ポール、建物等の有無とその高さ				
焼却炉、暖房施設、駐車場、燃料貯蔵施設、農作物の野外貯蔵所、酪農場、多くの家畜等の有無				
土地の傾斜	。～。	。～。	。～。	。～。
地表面の状態	(%)	(%)	(%)	(%)
森林、河川、湖沼、田畑等の有無				
道路の有無及び交通量				

オンサイトスケール(150m以内)

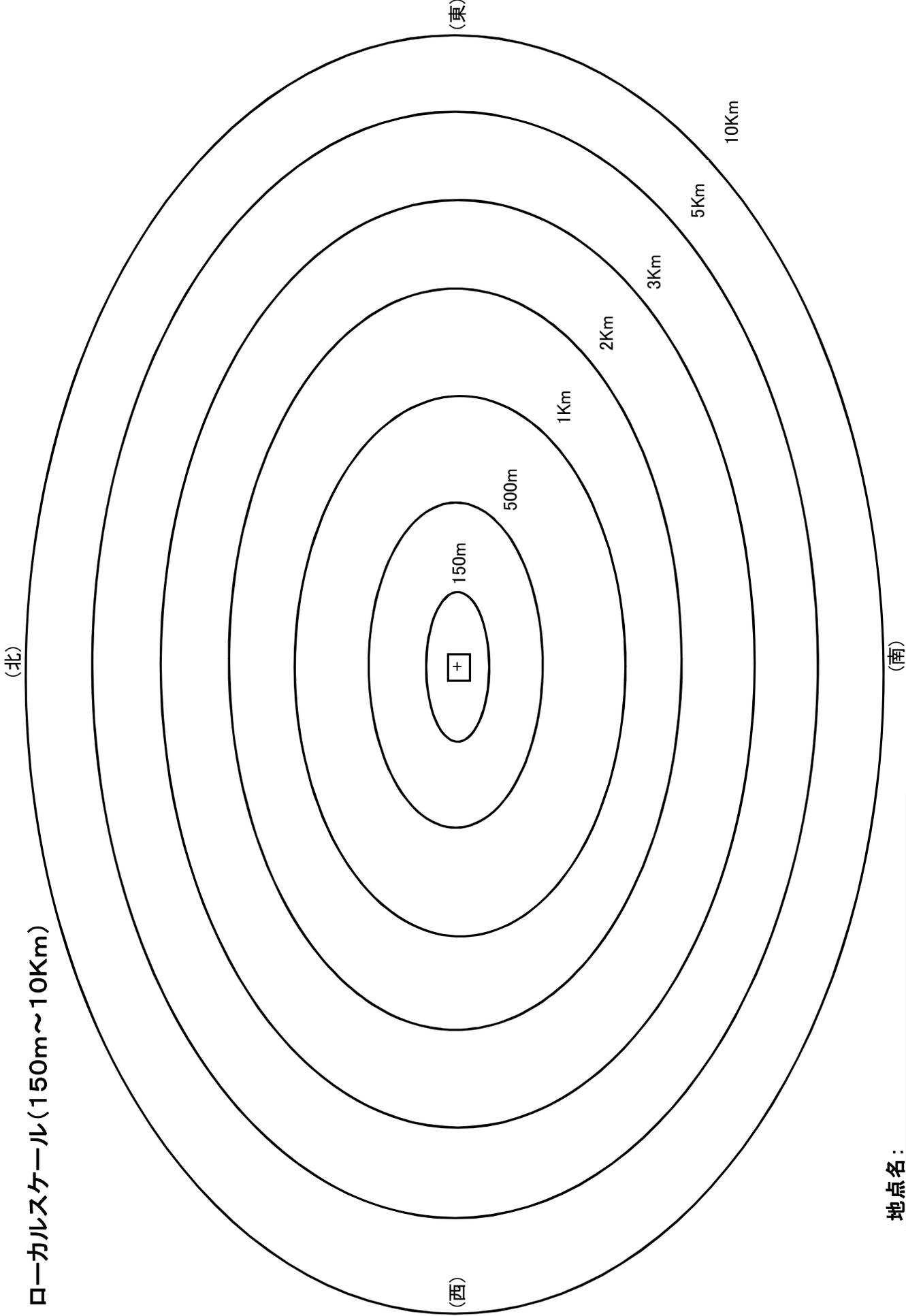


地点名: _____

オンラインスケールの周辺状況報告様式[様式 B]

B) ローカルスケール (150m~10km: 見取り図添付) (調査地点名: _____)

項目	北方向 (北西~北東)	東方向 (北東~南東)	南方向 (南東~南西)	西方向 (南西~北西)
主要道路とその交通量 (5,000台/日以上) の道路)				
航空、鉄道、船舶等の交通・航空とその交通量				
発電所、工場等の主要固定発生源 (年間排出量1トン以上)とその年間排出量 (二酸化硫黄、窒素酸化物等)				
都市、集落とその人口 (5,000人以上)				



地点名: _____

オンサイトスケールの周辺状況報告様式[様式 C]

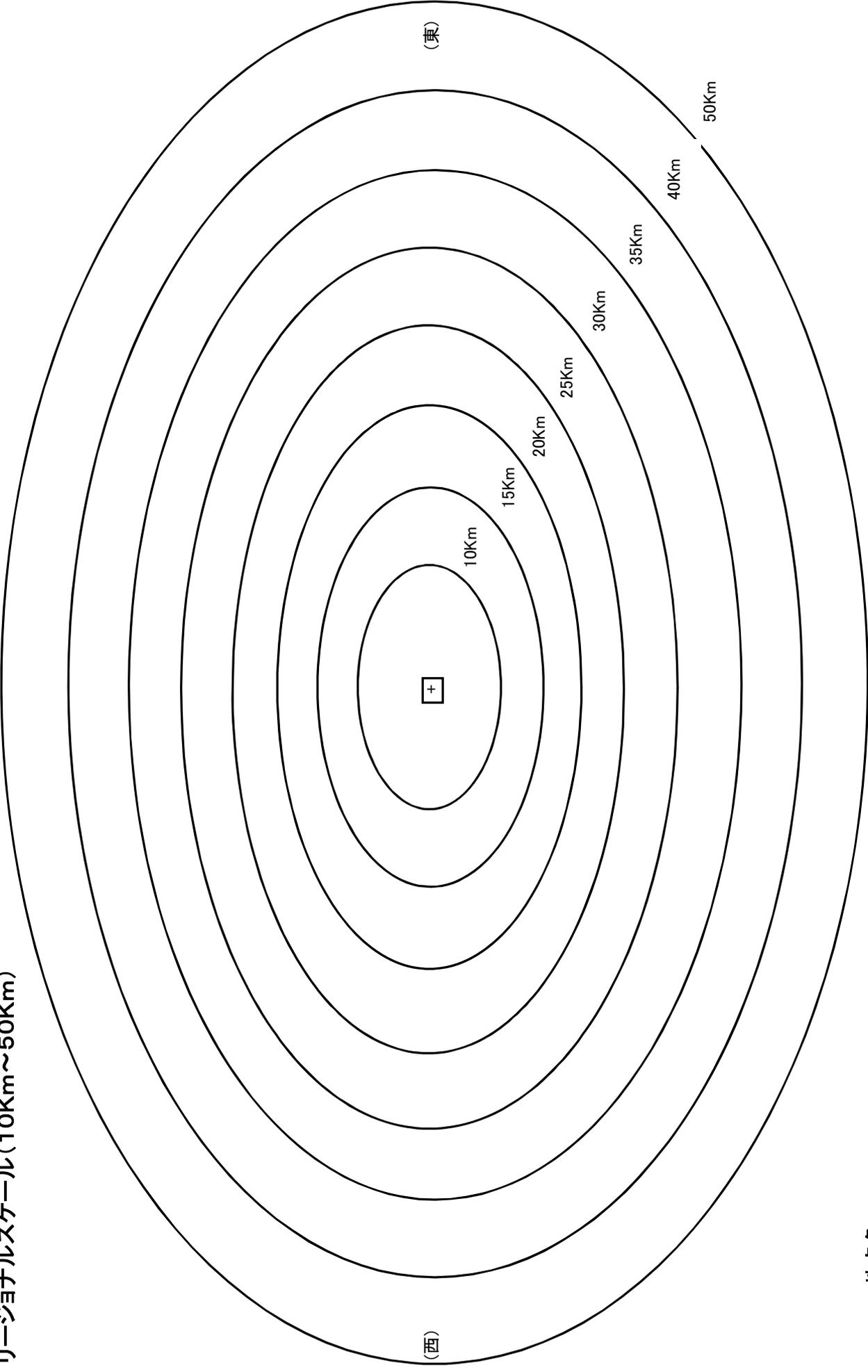
C) リージョナスケール (10km~50km : 見取り図添付) (調査地点名 : _____)

項目	北方向 (北西~北東)	東方向 (北東~南東)	南方向 (南東~南西)	西方向 (南西~北西)
発電所、工場等の主要固定発生源 (年間排出量 10トン以上) とその年間排出量 (二酸化硫黄、窒素酸化物等) *				
主要道路とその交通量 (10,000台/日以上の道路)				
都市 (人口1万人以上) とその人口				

注) *: アーバンサイトについては大発生源 (10,000トン/年以上) およびその他の主要発生源についてのみ記入する

(北)

リージョナルスケール(10Km~50Km)



(西)

(東)

地点名:

(南)

50Km

40Km

35Km

30Km

25Km

20Km

15Km

10Km

調査データに関連する情報の報告様式
(基礎調査地点用、土壌種毎に記載する)

1) 概要調査

調査地点		コード	
住所			
近隣の湿性沈着 モニタリング地点の 地点区分	1.都市部, 2.田園部, 3.遠隔地		

報告様式 土壌・植生 A)

2) サンプリング地点の概要 (予備調査)

調査実施日	
林分のタイプ	1.天然林, 2.二次林, 3.やぶ, 4.人工林, 5.造林地, 6.街路樹, 7.草地
主要な植物種名	
障害の認められる植物がある場合、以下に記述する	
植物種名	
症状	1.懐死, 2.白化, 3.変色, 4.異常落葉, 5.梢端枯れ
症状の程度	1.僅か, 2.明らか, 3.多い, 4.著しく多い又は枯死
備考:	
植物種名	
症状	1.懐死, 2.白化, 3.変色, 4.異常落葉, 5.梢端枯れ
症状の程度	1.僅か, 2.明らか, 3.多い, 4.著しく多い又は枯死
備考:	
植物種名	
症状	1.懐死, 2.白化, 3.変色, 4.異常落葉, 5.梢端枯れ
症状の程度	1.僅か, 2.明らか, 3.多い, 4.著しく多い又は枯死
備考:	

報告様式 土壌・植生 B)

3) 調査地点の設定

(1) 調査地点に関する情報

注意：土壌毎に下表を作成すること（必要に応じてプロット毎に作成）。

調査地点名			
所在地			
近隣の湿性沈着 モニタリング地点の 地点区分	1.都市部, 2.田園部, 3.遠隔地		
緯度経度	北緯	° ' "	経度 東経 ° ' "
標高（海拔）	m		
傾斜の方角		傾斜角度	°
表層地質:			
地形:			
土壌種:			

(2) 調査森林の概要

注意：土壌種毎に下表を作成すること。

林分のタイプ	1.天然林, 2.二次林, 3.人工林
主要な樹種	
樹齢	
管理記録：	

4) 土壌モニタリング

土壌種毎に下表の(1)と(2)を作成する。

(1) 土壌断面記載

FAOガイドライン(1990)の方法にそって、試料採取の前に土壌断面を調べる。調査結果は報告様式「土壌・植生 C」に記載し、土壌断面の写真を添付する。

(2) 土壌の化学分析

調査地点名	
採取日	
土壌種	
プロット及びサブプロットの設置状況	
土壌の採取法	
試料採取から分析までの期間	日
土壌試料の運搬・保管方法	
分析機関名と報告者名	
土壌試料の前処理方法（手引書と異なる方法で実施した場合は下記に詳細を記述する）	
モニタリング項目： 前処理法：	
モニタリング項目： 前処理法：	
土壌試料の分析方法（手引書と異なる方法で実施した場合は下記に詳細を記述する）	
モニタリング項目： 前処理法：	
モニタリング項目： 前処理法：	

報告様式 土壌・植生 C-1) 土壌断面記載

断面番号 PROFILE No.

調査日時：

調査実施者：

断面スケッチ Profile sketch	211	212		221	222				231	232					
	層位	層界 Boundary		土色	斑紋 Mottling				土性	石礫 Rock fragment					
	深さ	明瞭度	起伏		量	大きさ	コントラスト	層界	色		量	形状	風化	岩種	大きさ
A E B C R	A C G D	S W I B		N V F C M A	V F M C	F D P	S C D	C L CL Si SiC SiCL SiL SC SCL SL LS S	N V F C M A D	F A S R	F W S	F M C S B L			
	(H, O)	(組成・分解程度・テクスチャー・根・菌根・鉱物粒子の混入・他)													
L F H															

232 岩(AC GR GN GG QZ SC AN DI BA UB GA BT DO VO SE LI DM SA QS SH MA TR CO SI TU
PY EV GY NK)

報告書形式 土壌・植生 D) 化学分析結果(1回目)

分析の実施期間:
 分析機関名:
 報告者名:

試料 No.	調査地点 名	土壌種	Plot No.	Subplot No.	土壌層 (cm)	水分含量 (wt%)	pH		Ca	Mg	K	Na	交換性陽イオン(塩基性)			交換性酸度 (A) (cmol(+)kg ⁻¹)	交換性陽イオン(酸性) Al	H	有効陽イオン 交換容量 (A)+(B)	炭酸塩 (%)	全炭素 (g kg ⁻¹)	全窒素 (g kg ⁻¹)
							H ₂ O	KCl					C	M	N							
				1																		
				2																		
				3																		
				4																		
				5																		
				1																		
				2																		
				3																		
				4																		
				5																		
				1																		
				2																		
				3																		
				4																		
				5																		
				1																		
				2																		
				3																		
				4																		
				5																		

※調査地点毎に全プロットの位置がわかるよう見取り図を添付する。
 ※繰り返し分析の結果も上の表に従って整理し報告する。
 ※土壌化学性及び物理性の選択項目または自発的項目を実施した場合は、上記と同じような表を作成し報告

5) 森林モニタリング

プロット毎に下表を作成する。

(1) 樹木の計測と衰退状況

a. 調査概要

調査地点名		コード	
調査実施日			
主要な樹種名			
調査方法（手引書と異なる場合は詳細を記述する）：			
調査実施機関と 報告者名			

b. 樹木計測

最大樹高	m
最大胸高直径	cm
優占樹種の平均樹高	m
優占樹種の平均胸高直径	cm
胸高断面積計	m ² /ha
樹木の容積（材積）	m ³ /ha
樹木本数	/ha

c. 樹木の衰退状況 (調査実施日：)
 (報告様式 土壌・植生 E)の「樹勢の評価基準」について下記にまとめる)

樹勢の状況	樹木本数	衰退樹種名
基準 0	(全体の %)	
基準 1	(全体の %)	
基準 2	(全体の %)	
基準 3	(全体の %)	
基準 4	(全体の %)	

d. 林冠 (樹冠) の写真記録

撮影日	No.	天候	フィルムの種類	露出度	焦点距離 (mm)	地面からのカメラの高さ (m)

報告様式 土壌・植生 H) 森林総合調査表

調査地点名： _____

調査実施日： _____

調査実施者名： _____

1. 調査地点の概況

所在地： _____

林分のタイプ：天然林、二次林、人工林

平均林齢： _____

主要な樹種名： _____

2. 樹木について（報告様式 土壌・植生 F) から抜粋）

最大樹高： _____m (年当たりの生長量 _____ m)

最大胸高直径： _____cm (年当たりの生長量 _____ cm)

優占樹種の平均樹高： _____m (年当たりの生長量 _____ m)

優占樹種の平均胸高直径： _____cm (年当たりの生長量 _____ cm)

胸高断面計： _____m²/ha (年当たりの生長量 _____ m²/ha)*樹木の容積（材積）： _____m³/ha (年当たりの生長量 _____ m³/ha)

樹木本数： _____stands/ha

括弧内には、前回の調査結果をもとに生長率を計算し報告する。（※材積を算出した場合、算出法について7）備考欄にメモを添付すること）

3. 下層植生調査（報告様式 土壌・植生 G) から抜粋）

植物種数： _____

優占樹種名： _____

新たに確認された樹種名： _____

今回確認出来なかった樹種名： _____

6) 気象データ (調査年)

月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
項目													
温度 (°C)	月平均値												
	日平均の最高値												
	日平均の最低値												
湿度 (%)	月平均値												
	日平均の最高値												
	日平均の最低値												
月平均風速 (m/s)													
主風向													
月降水量 (mm/month)													
月日射時間 (hours/month)													
月日射量 (MJ/m ² /month)													

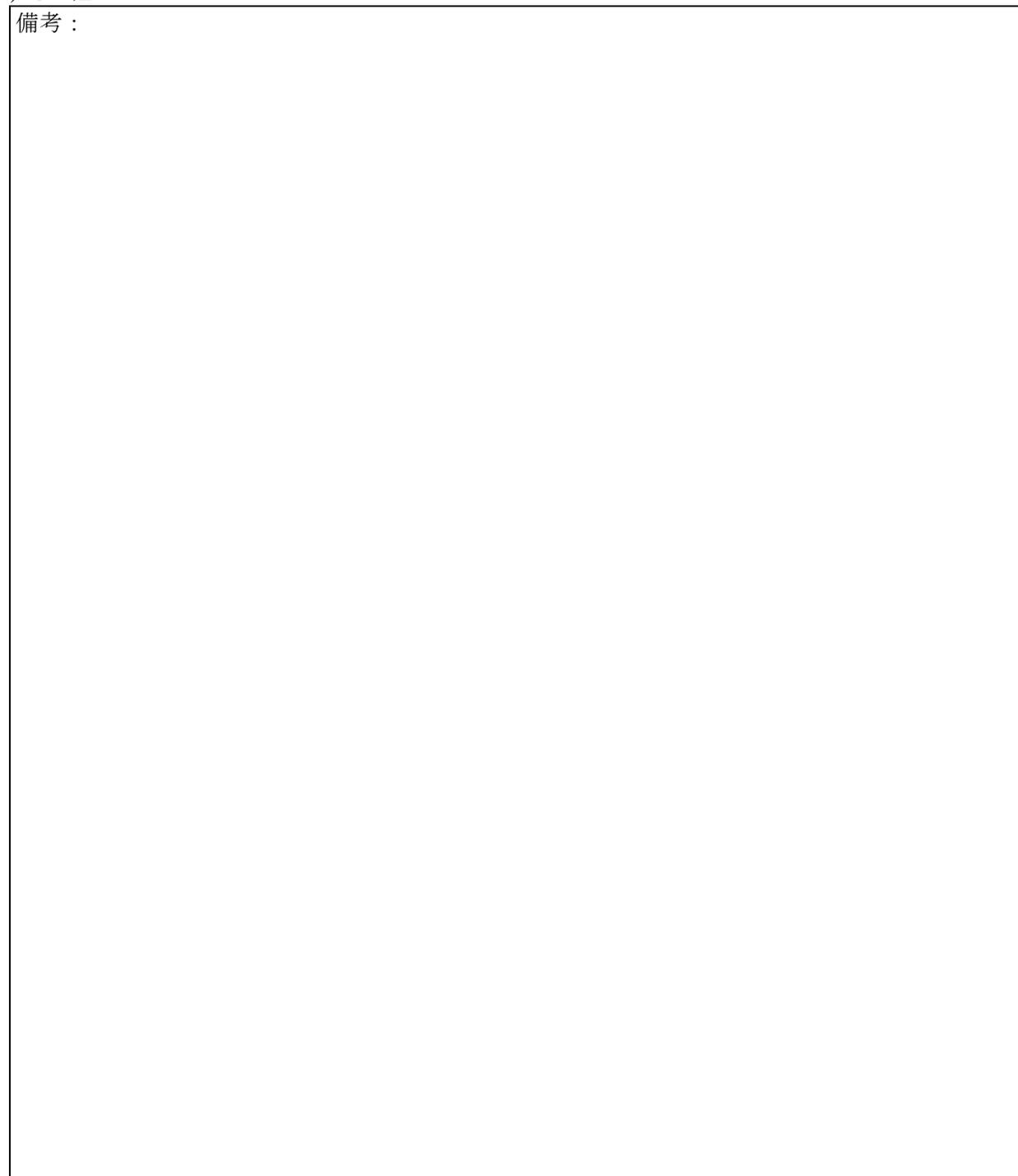
上記項目に関する時間値データ、日データのパソコンファイル及び印刷物の提出が望まれる。その場合は、上表を提出しなくても良い。

時間値データ：温度、湿度、風向、風速

日データ：降水量、日射量

7) その他

備考：



周辺の土壌図、地質図、植生図、土地利用図を添付する。